

高齢者・子育て世帯などの住宅確保を支援

熊本県で国交省・住宅セーフティネット制度への登録を開始

～賃貸住宅約10万5千戸を全国で提供するビレッジハウス・マネジメント～

ビレッジハウス・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、共同最高経営責任者：岩元 龍彦、工藤 健亮、以下ビレッジハウス）は、2021年1月8日、熊本県内の賃貸物件「ビレッジハウス」の住宅セーフティネットへの登録を開始しました。今回の登録物件は、宇城市、菊池市、八代市、熊本市の6物件430戸です。

登録物件の一例



ビレッジハウス不知火（シラヌイ）70戸
熊本 宇城市



ビレッジハウス小川（オガワ）80戸
熊本 宇城市



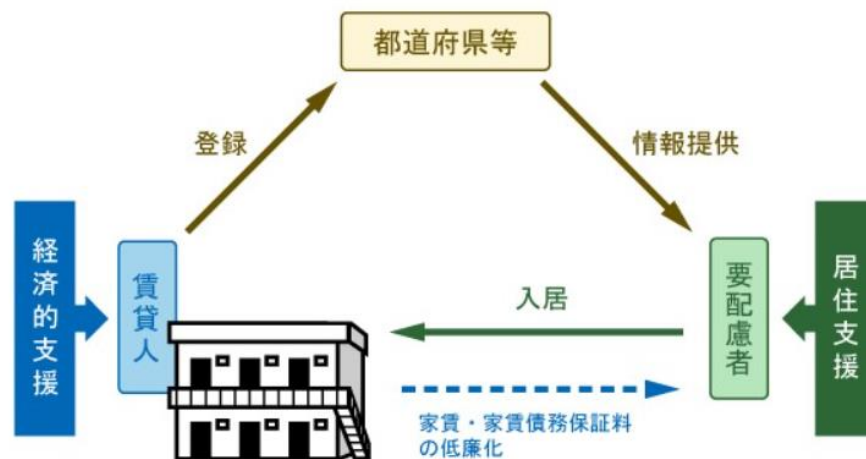
ビレッジハウス七城（シチジョウ）60戸
熊本 菊池市



ビレッジハウス千丁（センチョウ）80戸
熊本 八代市

ビレッジハウスは、住宅セーフティネット制度が導入されたのを機に、まず大阪府で4,256戸の登録を開始、本年1月14日までに31都道府県で21,185戸を登録、全登録数の約12%を占めています。

住宅セーフティネット制度は、国が制定した「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律」に基づく賃貸住宅で、高齢者や障害者、子育て世帯、シングルマザー、生活保護受給者などの住宅確保要配慮者に民間の空き家・空き室を活用し、住宅を提供する制度です。本年1月14日時点の全国登録数は175,046戸、そのうち愛知県が52,809戸、ついで千葉県27,867戸、大阪府25,011戸などとなっています。国土交通省は2020年度末までに17万5,000戸の登録を目指していましたが、この度の熊本県でのビレッジハウスの登録をもって、17万5,046戸と目標総登録戸数を超えました。



住宅セーフティネット制度の仕組み

出展：「新たな住宅セーフティネット制度について」（国土交通省）

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000055.html

ビレッジハウスは、単身者、ファミリー、高齢者や外国人をはじめ賃貸住宅を求める全ての方へ安心の住まいを低賃料で提供し、豊かな暮らしのお手伝いに努めており、今回の登録物件では、すでにファミリーや単身者など様々な方にご入居いただいております。簡単な手続きと低賃料の賃貸住宅を提供することで、住まいに関する課題解決、地域コミュニティ形成の一翼を担いたいと考えています。

ビレッジハウス・マネジメント株式会社について

ビレッジハウス・マネジメントは、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が雇用促進住宅を民間に売却した際に、フォートレス・インベストメント・グループが一括取得し「ビレッジハウス」へリブランディング、リノベーションして賃貸住宅として提供しています。全国47都道府県で1,067物件（2,863棟、105,758戸）※の賃貸住宅「ビレッジハウス」を運営、管理する国内最大級の賃貸住宅サービス会社です。住宅を建て替えるのではなく、既存の建物を有効活用、長く使用することで低賃料での提供を実現しています。簡単な手続きと低賃料で安心安全な賃貸住宅を、低所得者層を含む全ての人へ積極的に供給することで、よりよい日本の住宅環境を築くことを目指しています。※2020年12月1日時点の戸数

2020年12月1日現在、1,023名の従業員を擁し、東京本社のほか全国7支社、住まい相談センター、契約事務センターを展開し自社一貫のサポート体制を整えています。

■ビレッジハウス・マネジメント株式会社

<https://www.villagehouse.jp/>

本社：東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル4階

設立：2016年12月21日

本件に関するお問い合わせ

■ビレッジハウス・マネジメント株式会社 コミュニケーション本部 / 平田・若林

E-mail：vhm-PR@villagehouse.jp